

平成30年度

岩沼市の主な事業を

お知らせします

今年度、市では次の3つを重点施策と位置付けています。また、その他にもさまざまな事業に取り組みながら、各種施策を展開していきます。

① 地域で子育てできる環境づくり

② 次世代を担う子ども教育環境づくり

③ 安全・安心で快適なまちづくり

① 地域で子育てできる環境づくり

将来を担う子どもたちを安心して産み、育てることができる環境づくりのため、子育て世代層に対する支援を強化します。

■ 東部地区子育て支援拠点整備事業

…………… 6億9571万円

東日本大震災で津波被害を受けた東保育所を子育て支援センターの併設された複合施設として整備します。待機児童の解消の他、防災集団移転先の玉浦西地区内に建設することで、東部地区における子育て支援機能の充実を図ります。



▲東部地区子育て支援拠点の完成予想図

■ 産婦健診助成・産後ケア …………… 279万円

出産後間もない時期のお母さんの心身の健康保持や、問題の早期発見に努めるとともに、身体的回復と心理的安定を図り、健やかな育児ができるよう支援することで、子どもを安心して産み育てることができるよう環境を整備します。

■ 特定不妊治療費助成 …………… 450万円

県事業「宮城県不妊に悩む方への特定治療費支援事業」の助成を受けた方への上乗せ助成を引き続き行い、不妊治療に係る経済的負担を軽減し、少子化対策に努めていきます。

■ 子ども医療費助成 …………… 1億7098万円

助成の対象者は、市内に住んでいる「0歳から中学3年生（15歳に達する年度の末日）まで」の方のうち、健康保険に加入している方が対象となります。助成される医療費（入院、通院、訪問看護など）は、保険診療による自己負担額です。



▶すくすく教室の様子

■ 地域子育て支援センター事業 …………… 1136万円

乳幼児親子などが安全に安心して遊んだり交流したりできる快適で楽しい環境の提供と、子育て支援情報の発信を行っていきます。また、ボランティアの方など地域の方と協力しながら、子育て支援の充実を図っていきます。



▶子育て中のお母さんたちが楽しく交流できる場を作っていきます

■ ② 次世代を担う子どもの教育環境づくり

児童・生徒が安全快適に学校生活を送ることができるよう教育環境の整備をハードとソフトの両面から推進していきます。

■小学校・中学校施設維持修繕事業
……………1億1810万円

岩沼小学校給水装置配管修繕をはじめ、児童・生徒の安全確保を優先に行います。また、みやぎ環境交付金を活用した屋内運動場照明のLED化についても、引き続き取り組んでいきます。



▲LED化された玉中の体育館

■小中学校支援事業／指導助手・特別支援指導助手配置……………8220万円

小中学校で一人ひとりにきめ細やかな指導支援が届くよう、指導助手・特別支援指導助手を配置し、授業で担任とともに個別の支援を行うことで、「分かる授業」の展開に努めています。また、特別に配慮を要する児童・生徒に対して、個別の支援を行っていきます。

■外国語指導助手招致事業……………2034万円

平成29年3月に公示された小学校の新学習指導要領が平成32年度から全面实施されることに伴い、5・6年生は外国語活動から「英語」へ、3・4年生には新たに外国語活動が導入されます。コミュニケーション能力の基礎となる資質能力を養うために、外国語指導助手を3人から5人に増員して学習する機会をさらに確保します。



▲外国語指導を受ける児童(岩小)

■総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業……………892万円

総合的な学習の時間における体験的な学習や表現活動の充実のための援助を行っていきます。また、学校の特色ある行事や特別活動を推進するための備品の購入や講師の招聘に対して各学校に支援を行っていきます。

■放課後子ども教室推進事業……………160万円

地域の方の協力を得て、各小学校の空き教室を利用し、放課後における児童の安全・安心な居場所づくりを行います。また、さまざまな体験学習を通して、世代間交流にも取り組んでいきます。



▶地域の方と触れ合う子どもたち

■小学校・中学校管理に要する経費／職員室校長エアコン整備……………686万円

学校施設の整備については、岩沼西小学校と岩沼西中学校の職員室・校長室にエアコンを整備し、環境改善に取り組んでいきます。

③安全・安心で快適なまちづくり

災害に強く、子どもから高齢者まで全ての市民が安全で安心して暮らすことができる生活環境を整備します。

■新火葬場建設事業……………7561万円

平成28年10月から建設工事を進めてきた岩沼市斎場の建物ができ上がり、外構工事が完了する5月下旬からの利用を予定しています。斎場は、告別ホール、炉前ホール、収骨室の他、待合室2室を設置し、周辺環境に調和した環境と会葬者の心情に寄り添う空間として整備されています。また、ペット(小動物)火葬の受け入れができます。



▲駐車場は、利用者用41台、バス用3台となっています

場所／早股字新寺前71-1
※供用開始時期、使用料などについては、広報いわぬま5月号でお知らせします。

■災害情報伝達・収集体制整備事業……………3927万円

防災行政無線屋外拡声子局(スピーカー)の増設や防災ラジオの普及拡大を図るなど、情報伝達体制の向上に努めていきます。



▲増設する屋外拡声子局

■地域防災力向上事業……………627万円

地域防災力向上のため、地域防災の担い手となる防災士の養成講座を継続して開催します。

■安全・安心で利用しやすい道路環境整備

…………… 3億6129万円

市街地の生活道路については、計画的に狭い道路の整備や傷みが激しい箇所や修繕などを行いながら、安全で安心して利用できる道路の整備に努めていきます。梶橋線の拡幅整備工事などの道路改良工事を予定しています。



▶順次、整備していきます

■災害対応力向上事業

…………… 619万円

総合防災訓練（7月8日）の実施や備蓄食料の整備、土砂災害ハザードマップの作成（更新）など、災害時の万全な対応に努めていきます。



▶岩沼中学校へ避難する地域の方

■高齢者を地域で支える共生社会づくり

…………… 1億3051万円

防犯灯LED化促進助成、市民バス・デマンドタクシー運行、高齢者交流サロン、地域共生社会づくり活動支援を行っています。



▶デマンドタクシー出発の様子

■橋りょう長寿命化整備事業

…………… 1億7700万円

今年度は岩沼橋の架け替え工事が本格化することから、道路標示板などにより、交通管制の状況を広く周知していきます。



▶工事する岩沼橋

その他の取り組み

■矢野目西地区土地区画整理事業（特別会計）

…………… 23億6647万円

物流拠点形成に向けて矢野目西地区を整備し、仙台空港周辺地域の活性化を目指します。平成31年6月の工事完了、土地引き渡しに向けて上下水道や道路、交差点整備などの工事を進め、立地企業誘致に努めていきます。



▶17.7ヘクタールを整備します

■震災復興記録誌作成

…………… 2200万円

復旧・復興の取り組みや経過などを後世に伝えるため、昨年度に引き続き記録誌の作成に取り組めます。

■千年希望の丘整備事業

…………… 7402万円

藤曾根地区の園路を整備し、全体完成に向けた整備を継続します。



▶千年希望の丘

■（仮称）地域社会活動・地域コミュニティ形成支援施設建設事業

…………… 1億9186万円

市民や市民活動団体、行政などさまざまな主体が交流し、協働のまちづくりを目指す拠点を整備します。併せて地域資源の活用に取り組みチャレンジショップを整備します。

▼管理委員会から報告がありました（2月20日）



▶完成予想図（館下二丁目地内）

■（仮称）西部地区防災コミュニティセンター建設事業

…………… 1億3047万円

利用者の増加に伴い、手狭となっている西公民館・西児童センターを分離した上で、防災拠点機能を併せ持った新たなコミュニティセンターを西部地区に整備します。

■被災者サポートセンター事業

…………… 4710万円

集団移転地における住民同士のつながりや支え合いを深め、自立的な見守り体制の構築などを図るため、コミュニティの強化に向けた支援、被災者の心のケアおよび生きがいづくり、被災住民の世代間交流などについて引き続き取り組んでいきます。

